

写真や動画で制作過程を振り返りながら、よりよい作品をつくる

<期待される効果>

【児童・生徒】○写真や動画を作成過程で自分の活動をメタ認知し、今後の見通しを立てることで、自己調整力が身に付く。

【教師】○作成過程も含めて記録に残すことができるので、主体的に学習に取り組む態度の評価につなげやすい。

<学習場面>

思考を深める学習
(個別学習)



<機能・ツール>

【撮影】カメラ

【共有】

M365: Teamsファイル

Google:Googleドライブ

ロイロ:資料箱、提出箱

ミライ:ムーブノート

<モデル事例>

○紙のノートを撮影し、日付ごとの記録を取り、成長過程を把握する。

○作成物を撮影して教員に提出し、途中経過の報告と改善のためのアドバイスをもらう。

○作成物を撮影して書き込みをし、試行錯誤しながら、今後どのように作り上げていくかを考え、調整する。

○自分の発表や音読を撮影し、繰り返し視聴して練習する。

<ポイント>

○ミライシードやキュビナ等のデジタル教材と共に活用することも有効である。

○記録として残すだけでなく、次に繋げるための撮影をする。

<注意点>

○授業時に勝手に他人を撮影したり、他人の作品を盗作したりしないように情報モラルの観点から指導することが必要である。



<ハッシュタグ>

#初級 #撮影機能 #対話 #ファイルの蓄積 #発表 #思考力・判断力・表現力等